

# 長崎キヤノン活動報告

長崎キヤノン株式会社 人事部 安全衛生課

## ◆長崎キヤノン紹介

商号	長崎キヤノン株式会社
資本金	8,000万円
所在地	〒859-3793 長崎県東彼杵郡波佐見町折敷瀬郷925番1
設立	2008年7月8日
操業開始	2010年3月
従業員数	1,039名(平均年龄29.5歳)
敷地·床面積	敷地:約204,500㎡ 延床:約44,330㎡
主要製品	デジタルカメラ (一眼・コンパクト) ネットワークカメラ、プロジェクター

## 健康経営ダントツ宣言

#### 一宣言—

「健康第一主義」「三自の精神」の行動指針に基づき、 社員が健康管理に取り組むことができ、安心して 働ける環境を提供します。

キヤノングループNo.1の健康経営を目指すことで、 生産性の向 Fにつながり、社員一人一人が 「健康で働ける幸せ」を実感できる会社にすることを宣言します



■健康診断で自分の健康状態を知ろう

【白骨】

■自分で改善・向上に向けた行動を起こそう【自発】

■継続的に自己管理しよう

【自治】

#### 健康8箇条

第1条 目指そう標準体重、こまめに乗ろう体重計

第2条 やめよう間食、歩こう10分

第3条 最初に野菜、きちんと野菜 毎日350g

第4条 毎日すっきり、よい睡眠

第5条 早めに気づこう「こころのサイン」

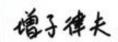
第6条 お酒はほどほど、煙は避けて

第7条 毎年受けようがん検診

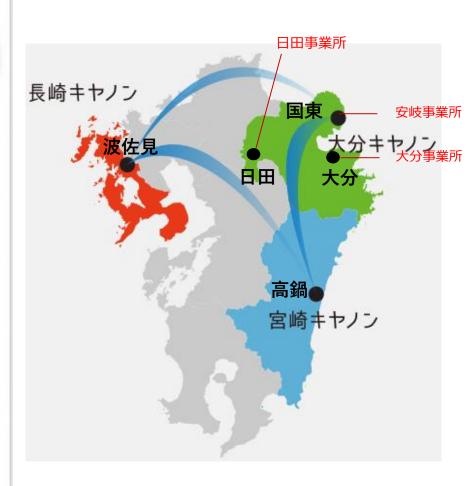
第8条 一日8000歩、カメラを持って出掛けよう

2020年10月1日 健康づくり責任者

大分キヤノン株式会社 社長 長崎キヤノン株式会社 会長 宮崎キヤノン株式会社 会長



大分キヤノン(3工場)・長崎キヤノン・ 宮崎キヤノンの3事業所5工場の総称です。



キヤノンの社員が、安全かつ安心して 健康に働くことができるよう、健康面から サポートする。

### 健康支援活動

### 重点項目

### 1.生活習慣病予防対策

1) 重症化予防:要受診・要管理者の受診徹底

禁煙支援の強化

30代以下の体重増加防止

2) がん対策 : がん検診受診による早期発見・治療への支援

女性特有のがん検診支援の強化

### 2.心の健康づくり

1)個人支援:管理職・監督者研修の強化

人事・支援担当者の連携力強化

2)組織支援:ストレスチェック集団分析結果の活用

既存の仕組みと連携した組織支援

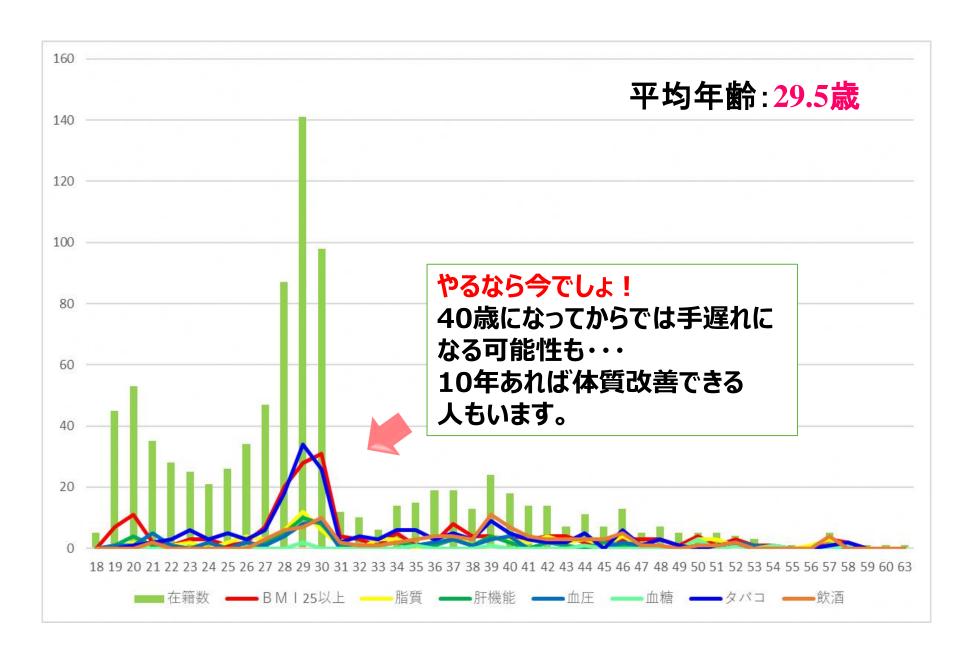
#### 評価項目

- ·再検査受診100%
- ・ハイリスク者喫煙率24%
- ·特定保健指導実施率55%
- ・がん検診受診率90%

#### 評価項目

- ·研修受講率90%
- ・ストレスチェック受検率
  - 97%以上
- ・組織支援ハイリスク 職場支援100%
- ・トップが産業医と安全衛生 委員会後に情報共有会を開催

## 健康支援活動



### 1.生活習慣病予防対策

	特定保健指導	各種イベント	禁煙支援	がん検診
内容	◆30歳以上を対象に実施し、 10年後・20年後を見据えた 生活習慣改善の支援 ・健診結果の共有 ・日常生活の見直し ・取り組むべき項目の確認 ・経過の確認	◆運動教室 コロナウイルスの影響 により中止 ◆栄養キヤンペーン 免疫力を高める 食事メニューの提供 (3日間) ◆ウォーキングイベント アプリを活用して データ入力	<ul> <li>◆Webによる禁煙外来年に1回期間を決め実施</li> <li>◆スモーカーライザーによる呼気中一酸化炭素濃度測定(適宜)</li> <li>*構内全禁煙:2018年より</li> </ul>	◆がん検診受診による 早期発見・治療への支 援(対象:30歳・35歳・40歳以上) ◆女性特有のがん検診 支援の強化 (20歳以上:隔年ごと に婦人科検診の実施)

#### 運動教室





#### 栄養キャンペーン



## (2.心の健康づくり

	入社2年目面談	監督者メンタルヘルス研修	管理者メンタ ルヘルス研修	
実施	適宜、個別面談形式	2020年7/27.7/29.8/3	11月30日(月) 10:00~11:30 実施予定	
内容	職場不適合を早期発見し早 期介入を図る目的	発達障害 (ASD/ADHDとは)		
対象 者数	52名(内8名:大分出向)	56名(欠席者4名)	対象:27名予定	
備考	◆担当業務を任され始めたことによる不適応や困っている事項の確認ができた ◆職場内の人間関係が固定してきている時期であり本人の人間関係構築能力やコミュニケーション力の程度を共有、必要なアドバイスを行い、セルフケアが実践ができた	<ul> <li>◆受講者満足度:100%</li> <li>◆業務に活用できる:90%</li> <li>(昨年68%)</li> <li>◆アンケートでの意見:</li> <li>・課員同士のやり取りに問題を感じるときに当事者2人にどのように向き合えばいいか悩む等</li> <li>◆今後の要望</li> <li>・精神疾患を発症する前のサイン・自己肯定感やモチベーションを保力方法</li> </ul>		

### 今後に向けて

1. いかに若い世代の健康意識を引き出すか。そのために 魅力ある情報(イベント等)を発信し行動変容のきっ かけを提供する。

最終的には行っている活動が日常に落とし込める「仕組みづくり」の構築。

(運動・食生活・がん検診)

### 2. 感染症対策の継続

管理職による全員体温測定を 継続し、危機意識の継続

